



Atsushi Hiragitani

柗谷篤司

柗谷溶接所 代表



溶接の技術を高めるほどに、新しい世界が広がる

溶接とは

2つ以上の部材に熱や圧力を加え継ぎ合わせて1つの材料を作る接合方法。必要に応じ適当な溶加材(金属材料)を加える。建築物・自動車・船など主に金属同士をつけることが多く、あらゆる産業で用いられている。

柗谷さんは、保有する4機種9台の溶接機を使いこなし、精度の高い溶接を行っている。アルミや真鍮など溶接の難しい部材もあつかい、なかでも異材のろう付けという希少な技能を有する。同業他社からの依頼が多いことから、その技能の高さがうかがえる。「夢は自分にしかできない溶接技術の確立」と柗谷さん。



夢中になれる仕事

一つ一つの仕事に向き合ううちに、納得の仕事ができる瞬間が訪れた。コツコツやっていると、いつの間にか技術が高まる。「結果、大きな壁を乗り越えられるんです。その時の高揚感が格別です。夢中になれることを見つけれられた私は、幸せですね。」と目を輝かせる。

お客さんに育てられて今がある

柗谷溶接所に持ち込まれる仕事は多種多様。単品の仕事も多い。いただいた仕事について、しっかりとニーズを聞き、考えを説明する。難しい仕事であればあるほど、お客さんと話し合い、最適な溶接方法を何度も検討する。「職人としての考えを押し付けるのではなく、いかにお客さんに納得していただける製品を作れるか。」より良い溶接というのは技術と知識の相乗効果。お客さんの期待に応えようとする気持ちが、さらに技術と知識を高める。



悔しさだけが残った、最初の仕事



柗谷溶接所は、父親から引き継いで柗谷さんが2代目。「父親の仕事を経営ということは全く考えてなかった。」そんな柗谷さんが、溶接にかかわることとなったきっかけは、「急ぎの仕事が入ったから手伝って」と言う父親からの頼みだった。最初に任されたのは溶接初心者でもできる簡単な仕事だった。熟練工の父はいとも簡単にやってみせるが、思うように仕上がらない。「悔しくて、悔しくて。手伝いが終わると父に、また仕事があったら声をかけてと頼みました。」気がつけば、溶接の道を歩み始めていた。

『鉄の町 九条』から、町工場の魅力を伝える

九条の町には、特定の金属加工技術をもつ小さな町工場が点在しており、町全体が1つの大きな工場のように製品を作り出す。しかし、不景気や後継者不足で事業者数は年々減り続けている。そこで柗谷さんは、町工場の若手後継者達で設立された「てづくり工場組合」に参加。九条という町を、そして産業を盛り上げる活動をはじめた。地域の人や子ども達に開かれた町工場にするため、そしてものづくりのイメージを明るくするため、工場見学やものづくりワークショップに取り組んでいる。

Profile 金属溶接のスペシャリスト

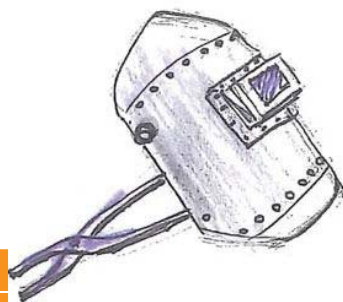
1977年創業の柗谷溶接所の代表 柗谷篤司さん。20年以上のキャリアをもつ2代目だ。柗谷溶接所は職人2人の小さな町工場だが、鉄・ステンはもちろん、加工が難しいとされるアルミや真鍮などの溶接も、多種多様な機械と技能を駆使し溶接を施す。ステンレス鋼溶接技能者専門級の資格を有し、寸法精度の厳しいステンレスの製缶や異種金属のロウ付けも行えるなど、高い技能を誇る。

また、西区九条の『鉄の町・九条』としてのブランド化に尽力。若い世代に町工場の魅力を発信している。

所属企業 柗谷溶接所

〒550-0025 大阪市西区九条南3丁目23-23 TEL:06-6581-1805 FAX:06-6581-1805

HP: <http://hiragitani-welding.com>



大阪テクノマスターとは…大阪市内のものづくり企業で活躍する“ものづくり”のスペシャリスト。

問合せ先 ▶ 大阪市 経済戦略局産業振興部 〒559-0034 大阪市住之江区南港北 2-1-10 ATCビル オズ棟南館 4 階 TEL:06-6615-3761 FAX:06-6614-0190